

鈴木 永二 (スズキ エイジ)	
職 位	保育科長 教授
最 終 学 歴	宮城教育大学教育学部
学 位・称 号	学士(教育学)
専 門 領 域	社会福祉、教育社会学
担 当 科 目	教育原理、子育て支援、子ども家庭支援の心理学、
所 属 学 会	日本教育カウンセラー協会
主な研究業績	
論 文 等	<p>【宮城誠真短期大学研究紀要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第10号. 2019 <ul style="list-style-type: none"> 1) ルポ 児童相談所一朝日新聞一 ➤ 第11号. 2020 <ul style="list-style-type: none"> 2) 意欲をもたせ、講義内容の理解を促すための指導法の一考察 ～講義におけるウェビングの活用を通して～ 3) 短期大学の教育を考える (1) ➤ 第12号. 2021 <ul style="list-style-type: none"> 4) 書く活動を取り入れた保育指導法の一考察 ～テキストマイニング利用した 保育者養成校における表現力・文章力の育成の調査～ 5) 保育士養成における障害児体育の研究動向 ～保育士が実践する障害児体育の検討 保育内容演習(健康)の連携を目指して～(共著) ➤ 第13号. 2022 <ul style="list-style-type: none"> 6) 書字表出不全の児童生徒を対象とした漢字書字学習の教育原理的考察(共著) ～スクールカウンセリングを含めた文献調査～ 7) 「教育原理」の指導法の一考察 ～学生の意識調査と先行論文の研究を通して～ ➤ 第14号. 2023 <ul style="list-style-type: none"> 8) 「教育原理」に対する本学学生の意識調査の一考察(共著) ～令和3年度、令和4年度入学生の意識調査結果を通して～ ➤ 第15号. 2024 <ul style="list-style-type: none"> 9) 「子育て支援」についての一考察 ～学生の意識調査と大崎市の子育てと支援事業から考える～ <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10) 『花山を愛し 夢や希望に向かって 楽しく学ぶ児童の育成』 ～地域の『ひと』『もの』『こと』を生かした協働教育と豊かな体験活動を通じた学校経営の一試み～教育公務員弘済会宮城支部研究論文：2015.
学 会 発 表 等	東北僻地研究大会山形大会において実践発表：2013年10月
活 動 等	<ul style="list-style-type: none"> 1) 「花山青少年自然の家」とのコラボ学習及び文部科学省主催「体験の風を起こそう」事業を地域と協働で推進。(平成26年4月～平成27年3月) 2) P T Aと連携を図りながら、親子でネットや携帯電話の使用法について学習会を開き「ネットリテラシー」について意識の向上を図った。(平成27年4月) 3) 宮城県加美郡加美町内でいち早く無線L U Nを導入し、タブレットを利用するなどのI C T教育に取り組み、加美町内で自主公開。(平成28年4月) <p style="text-align: right;">他</p>
学 務・委 員 会	1) 保育科長 2) 研究論文委員会 3) FD・SD委員会 4) 学生倫理委員会 5) 学生募集委員会 6) 学校評価委員会

北澤 和美 (キタザワ カズミ)	
職 位	教授
最 終 学 歴	武蔵野大学大学院
学 位・称 号	修士(人間学)、 学士 (教育学)
専 門 領 域	心理学、心理療法、身体教育学
担 当 科 目	幼児と人間関係、保育内容演習：人間関係、乳児保育Ⅰ・Ⅱ
所 属 学 会	日本保育者養成教育学会 ヘルスカウンセリング学会
主な研究業績	
論 文 等	<p>【宮城誠真短期大学研究紀要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第6号. 2015 <ul style="list-style-type: none"> 4) 日米文学の比較から見える文化の違い ～作物を仲立ちとした人と動物とのかかわりと心の動きを通して～ 5) おもちの製作からとらえる子ども理解 ～演習「乳児保育」でのアクティブラーニングの試み～ ➤ 第7号. 2016 <ul style="list-style-type: none"> 6) 食行動の形成に関わる心理学的諸問題 ～親と子の食行動と心の形成の関連～ 7) 演習「教育実習」の改善 ～観察実習の持ち方と年間指導計画の組み替えの試みを通して～ ➤ 第8号. 2017 <ul style="list-style-type: none"> 8) 演習「教育実習」の改善 ～異学年合同「情報交換会」を実施して～ 9) 創作ダンスの大学からの発信 ～音楽からの想像を大切にしたいダンスの創作活動～ ➤ 第9号. 2018 <ul style="list-style-type: none"> 10) 子どもの人間関係を理解するための保育者としての視点 ～体験活動としての「共同作業」の取組を通して～ 11) 幼稚園教育実習の実習状況 ➤ 第10号. 2019 <ul style="list-style-type: none"> 12) 保育者と子どもとの人間関係・コミュニケーションへの一視点 ～「読み聞かせ」と脳の働きの関係性について～ 13) 楽しい手遊びや表現運動遊びを大学から発信しよう ～幼児向け遊び・表現運動遊びの創作活動～ ➤ 第11号. 2020 <ul style="list-style-type: none"> 14) 昔話から見える子育てと現代の子育ての状況の比較 ～昔話「いっすんぼうし」の中の人間関係を通して～ 15) 子どもたちの発達の違いによる人間関係と保育者の介入への一視点 ～実習生が捉えた子どもたちの関係性とかかわり方を通して～ ➤ 第12号. 2021 <ul style="list-style-type: none"> 16) 人間関係の構築の手立て ～二人及び三人以上の協同活動を通して～ 17) 短期大学における教育課程の課題 ～指導案の学びを通してのカリキュラム編成の工夫～ ➤ 第13号. 2022 <ul style="list-style-type: none"> 18) 乳幼児への言語的かかわりのための環境づくり ～乳幼児の言語発達と「ことばがけ」コミュニケーションの重要性を通して 19) 子どもたちが楽しんで踊れるダンス教材の開発 ～「こつつん ころころ」の曲に合わせ振付を通して～ ➤ 第14号. 2023 <ul style="list-style-type: none"> 20) 乳児保育を学ぶ学生を取り巻く環境変化からの指導の課題 ～学生アンケート調査結果の変化を通して～ 21) 幼児を対象とした絵描き遊び教材の開発 ～言葉のやりとりを通し、コミュニケーションを楽しむ絵描き遊び～
活 動 等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度～28年度みやぎ県民大学開放講座「心理学入門」「カウンセリング」等 ・平成28年度～令和4年度「登校支援ネットワーク事業」訪問指導員（宮城県教育委員） ・平成29年度日総研セミナー「自分に合ったリーダー業務の進め方とチームのまとめ方」（日総研） ・令和元年度日総研セミナー「自分の強みを生かしたリーダーシップ：相手のタイプにあわせた関わり方」（日総研）

井坂 亨 (イサカ トオル)	
職 位	教授
最 終 学 歴	福島大学教育学部
学 位 ・ 称 号	学士(教育学)
専 門 領 域	社会学、教育学、教育社会学、児童保育学
担 当 科 目	社会学、保育内容総論、日本国憲法
所 属 学 会	日本保育者養成教育学会
主な研究業績	
著 書 等	1) 改訂版宮城誠真短期大学就職支援白書 (編著) . 宮城誠真短期大学. 2018
論 文 等	<p>【宮城誠真短期大学研究紀要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第 7 号. 2016 <ul style="list-style-type: none"> 1) 母子世帯に対する保育ソーシャルワーク研究 ～子育て世代の母子家庭に焦点を当てた支援の可能性～ (共著) 2) 卒前キャリア教育についての一考察 ～短期大学卒前が癖の調査～ (共著) 3) ネットいじめの問題について一研究 ～短期大学生からのスマホ使用状況調査～アンケート調査結果 (共著) ➤ 第 8 号. 2017 <ul style="list-style-type: none"> 4) 社会学におけるアクティブラーニングの一考察 ～ピア・ラーニングの実践を通して～ ➤ 第 9 号. 2018 <ul style="list-style-type: none"> 5) 学習意欲を高める保育内容総論の指導法について ～保育に関する学生の意識調査等に基づく授業を通して～ ➤ 第 10 号. 2019 <ul style="list-style-type: none"> 6) 保育士養成短期大学におけるボランティア活動の意義について ～ボランティア活動に関する実態・意識調査の結果から ➤ 第 11 号. 2020 <ul style="list-style-type: none"> 7) 短期大学の教育を考える (1) (共著) 8) 保育者養成系大学における日本国憲法の講義の在り方 ～保育と憲法とのかかわりを生かした指導～ ➤ 第 12 号. 2021 <ul style="list-style-type: none"> 9) 保育者養成校における学生参加型授業の在り方の一考察 ～社会的養護の講義における自由記述の感情分析～ 他 ➤ 第 13 号. 2022 <ul style="list-style-type: none"> 10) 「社会人基礎力」の育成を図る指導法の研究 ～コミュニケーション活動を主とした授業を通して～ ➤ 第 14 号. 2023 <ul style="list-style-type: none"> 11) NIE を取り入れた人権教育の実践研究～自己肯定感を高める授業実践を通して～ ➤ 第 15 号. 2024 <ul style="list-style-type: none"> 12) コロナ禍の生活が与える大学生生活への影響 ～生活充実度調査等から分析する心身の変化～
活 動 等	1) まこと幼稚園教員・保護者研修「リフレーミングで生き生きと」 ～仕事も人間関係も生き生きと～(平成 30 年) 2) 大崎市児童審議委員会委員長 (H30. 11. 1～R2. 10. 31) 3) 令和元年 みやぎ県民大学開放講座「楽しく生きるためのおもしろ社会学講座」
学務・委員会	1) 事務長 2) 教育課程委員会 3) 学校評価委員会

石森 小緒里 (イシモリ サオリ)	
職 位	教授
最 終 学 歴	玉川大学文学部芸術学科
学 位 ・ 称 号	学士 (文学)
専 門 領 域	図画工作、美術工芸、子ども学
担 当 科 目	造形表現、保育内容演習・表現、幼児と表現
所 属	全国大学造形美術教育教員養成協議会 (全美協)
主な研究業績	
論 文 等	<p>【宮城誠真短期大学研究紀要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第 9 号. 2018 <ul style="list-style-type: none"> 1) 保育者養成校における表現活動 ～モダンテクニック (技法遊び) から保育教材への応用～ ➤ 第 10 号. 2019 <ul style="list-style-type: none"> 2) 触感に働きかける表現指導について ～学生の幼少期における原体験調査からの一考察～ ➤ 第 11 号. 2020 <ul style="list-style-type: none"> 3) 子どもの描画表現から見る発達と表現に関する研究 ～S の観察記録からの一考察～ ➤ 第 12 号. 2021 <ul style="list-style-type: none"> 4) 保育士養成における障害児体育の研究動向 ～保育士が実践する障害児体育の検討：保育内容演習 (健康) の連携を目指して～ (共著) ➤ 第 13 号. 2022 <ul style="list-style-type: none"> 5) 保育環境の中のキャラクターに関する研究 ～保育におけるキャラクターの取り扱いについての一考察～ ➤ 第 14 号. 2023 <ul style="list-style-type: none"> 6) 子どもの描画表現とキャラクターに関する研究 ～S の観察記録からの一考察～ ➤ 第 15 号. 2024 <ul style="list-style-type: none"> 7) 保育内容「表現」の指導に関する研究 ～総合的な表現活動の実践からの一考察～
活 動 等	<ul style="list-style-type: none"> 1) 色彩心理に基づくアートセラピーを取り入れたワークショップを提供する「アトリエ・アイアム」に所属 (2013～2015) し、芸術的領域から表現を楽しむ場の提供を目的とした活動を行う。 2) 平成 26 年度みやぎ県民大学開放講座「色彩表現の基礎～三原色から生まれる世界～」 「色彩と脳の関係」 3) アート力∞2014「東北におけるアートの広がり可能性」で実践報告 4) 平成 27 年度みやぎ県民大学開放講座「人の心と色の関係」「色彩でできるストレスケア」 5) 平成 30 年度みやぎ県民大学開放講座「心を癒すアート体験 I・II」 6) 希望分野別模擬講義 宮城県登米高等学校 7) 系統別出前授業 中新田高等学校 8) 令和 4 年度みやぎ県民大学開放講座「和紙を使って、季節のタペストリーを作ろう！」 9) 令和 4 年 11 月 希望別模擬授業 田尻さくら高校
学務・委員会	<ul style="list-style-type: none"> 1) 教務課長 2) 教育課程委員会 3) 研究論文委員会 4) FD・SD 委員会 5) 学校保健委員会 6) 学習支援委員会 7) 学校評価委員会

櫻井 正昭 (サクライ マサアキ)	
職 位	准教授
最 終 学 歴	宮城教育大学教育学部
学 位 ・ 称 号	学士 (教育学)
専 門 領 域	言語学・教育学
担 当 科 目	国語表現、幼児と言葉、保育内容演習・言葉、教育実習、キャリアガイダンス
所 属 学 会	全国大学国語教育学会
主な研究業績	
著 書 等	1) 進路マニュアルガイドブック：宮城誠真短期大学. 2022
論 文 等	<p>1) 「福祉・ボランティア」の心を育み、自ら実践に取り組む生徒の育成 - 持続可能なボランティア活動の理論と実践 - 』『宮城県教育公務員弘済会論文』：2006</p> <p>2) 「漢字力を高めるためのワークシートの開発」『宮城県教育公務員弘済会論文』：2006</p> <p>【宮城誠真短期大学研究紀要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 第 12 号. 2021 <ul style="list-style-type: none"> 3) 国語表現力を高めるための継続・発展的な指導法の試み ～保育科学生の国語力の実態把握と分析を通して～ ➢ 第 13 号. 2022 <ul style="list-style-type: none"> 4) 書字表出不全の児童生徒を対象とした漢字書字学習の教育原理的考察 (共著) ～スクールカウンセリングを含めた文献調査～ 5) 【書評】アンデシュ・ハンセン著 (久山葉子訳) 『スマホ脳』 ➢ 第 14 号. 2023 <ul style="list-style-type: none"> 6) 「教育原理」に対する本学学生の意識調査の一考察 (共著) ～令和 3 年度、令和 4 年度入学生の意識調査結果を通して～ 7) 保育者養成短期大学における音読指導の在り方 ～学生の音声言語能力を高めるための指導法の試み～ ➢ 第 15 号. 2024 <ul style="list-style-type: none"> 8) 原語感覚を豊かにし、学習意欲を高めるためのアプローチ ～方言学習を取り入れた「国語表現」科目の実践から～
活 動 等	<p>1) 宮城県教育公務員弘済会論文 (宮城県最優秀賞)</p> <p>2) 東北地区小中高国語教育研究協議会 総括事務局長</p> <p>3) 宮城県連合中学校教育研究会 国語研究部会長</p> <p>4) 大崎市教育研究会国語研究部 研究部長</p> <p>5) 令和 4 年度みやぎ県民大学開放講座「古典」に親しむ～平家物語と源義経～</p> <p>6) 令和 3 年 模擬授業 加美農業高校</p>
免 許 資 格	<p>1) 中学校教諭一種免許状 (国語)</p> <p>2) 高等学校教諭一種免許状 (国語)</p> <p>3) 防火管理者乙種</p>
学 務 ・ 委 員 会	1) 総務課長 2) 学生募集委員会 3) 学習支援委員会 4) 学生倫理委員会等

千葉 剛 (チバ ツヨシ)

職 位	准教授
最 終 学 歴	山形大学教育学部
学 位 ・ 称 号	学士 (教育学)
専 門 領 域	社会
担 当 科 目	保育者論、社会的養護 I、子どもの養護、教育実習、キャリアガイダンス
所 属 学 会	
主な研究業績	
著 書 等	1) 進路マニュアルガイドブック：宮城誠真短期大学. 2022
論 文 等	1) 弘済会教育実践研究論文入選「自分のよさを知り、生かすことのできる児童の育成」 2022年3月 【宮城誠真短期大学研究紀要】 ➢ 第14号. 2023 2) 保育者を目指す学生の学びに向かう力を高める動機づけについての一試み ～科目内容と保育士との関連性を意識した指導を通して～ ➢ 第15号. 2024 3) 保育者を目指す学生の意識の高揚を図る一試み ～「保育者論」における絵本の読み聞かせを通して～ 4) 保育者養成校における学生の主体的な学びについての一考察 ～交流活動や意見交換、グループワークを取り入れた「保育者論」の指導を通して～
活 動 等	1) 宮城県教育委員会 小学校教育課程研究協議会講師 2015年6月 2) 令和4年10月 進路を考える日「キャリア講話」登米高校
免 許 資 格	1) 小学校教諭一種免許状 2) 中学校教諭一種免許状 (社会) 3) 高等学校教諭一種免許状 (社会)
他	
学 務 ・ 委 員 会	1) 学生募集委員会 2) 学校図書委員会 3) 学校評価委員会 4) 研究論文委員会等

佐藤 憲治 (サトウ ケンジ)

職 位	講 師
最 終 学 歴	國學院大學経済学部
学 位 ・ 称 号	学 士 (経 済 学)
専 門 領 域	社会、特別支援教育
担 当 科 目	特別支援保育、社会福祉Ⅰ・Ⅱ、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、児童館実習Ⅰ
所 属 学 会	
主な研究業績	
論 文 等	<p>1) 弘済会教育実践研究論文入選 「数学的な見方や考え方を高める学習指導の一試み」(2019年3月)</p> <p>【宮城誠真短期大学研究紀要】 ➤ 第15号, 2024</p> <p>2) 各種障害の特性を理解し、個と集団の成長を図る保育の在り方を探る ～1科目2サイクルのシラバス作成の工夫を通して～</p>
活 動 等	1) 北部地区教育研究会 社会科研究部長
免 許 資 格	<p>1) 小学校教諭専修免許状</p> <p>2) 中学校教諭一種免許状 (社会)</p> <p>3) 高等学校教諭一種免許状 (社会)</p> <p>4) 養護学校教諭二種免許状</p> <p>5) 学校図書館司書教諭</p> <p>6) 剣道二段</p>
学 務 ・ 委 員 会	1) 学生募集委員会 2) 学習支援委員会

高橋 裕彦 (タカハシ ヒロヒコ)

職 位	講 師
最 終 学 歴	宮城教育大学大学院教育学研究科教科教育専攻美術教育専修
学 位 ・ 称 号	教育学修士
専 門 領 域	社会福祉、図工美術教育
担 当 科 目	幼児と健康、保健体育、保育内容演習・健康、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ
所 属 学 会	
主な研究業績	
論 文 等	<p>1) いじめ対応研修テキスト「いじめ対応の手引」～子供たちが行きたくなる安心・安全な学校にするために～ (2016年宮城県教育委員会) 及び付属 DVD</p> <p>2) リーフレット「中1不登校の解消に向けて」 (2015年宮城県教育委員会)</p> <p>【宮城誠真短期大学研究紀要 > 第15号, 2024</p> <p>3) 健康への関心・意欲を高め、社会性を養う教養体育の在り方 ～保健体育(実技)の指導実践を通して～</p> <p>4) 本学における教養体育の位置づけと目的を考える ～大学体育の意義と保育者に求められる資質・能力を手掛かりにして～</p>
活 動 等	<p>1) 大崎市いじめ問題対策連絡協議会委員 2021年 - 2023年</p> <p>2) 宮城県造形教育連盟副会長 2022年</p> <p>3) 北部教育研究会図工美術部会長 2019年 - 2022年</p> <p>4) 栗原市自殺防止対策連絡協議会委員 2017年 - 2018年</p> <p>5) 登米市PTA連合会研修会講師 2017年 「いじめに向かわせない子どもを育てる学校・家庭・地域の連携」</p> <p>6) 公開実践発表会 「児童が楽しく積極的に地域文化の学習、地域交流に取り組むキャリア教育の仕組みをつくる～「文字甚句」と「リズムダンス」を融合したキャリア教育プログラムの活用を通して～ (2017年 公益財団法人日本ストリートダンススタジオ協会)</p>
免 許 資 格	1) 小学校教諭専修免許状
学 務 ・ 委 員 会	学生倫理委員会

大塚 初美 (オオツカ ハツミ)

職 位	講師
最 終 学 歴	都留文科大学文学部
学 位 ・ 称 号	学士 (文学)
専 門 領 域	国文学
担 当 科 目	国語学、子ども家庭福祉、子ども家庭支援論、保育指導法の研究、教育実習
所 属 学 会	
論 文 等	<p>1) 弘済会教育実践研究論文入選「確かな学力を身に付けさせる授業づくり」(2022年)</p> <p>【宮城誠真短期大学研究紀要】</p> <p>➤ 第15号.2024</p> <p>保育士養成校における学生の意識調査を加味した授業改善の一試み ～一年次保育指導法の研究の講義を通じて～</p>
活 動 等	<p>1) 宮城県学校図書館研究大会 (実践発表)</p> <p>2) 宮城県教育研修センター・防災主任研修会 講師</p> <p>3) 宮城県教育研修センター・志教育 (実践発表)</p> <p>4) 東部登米地区教育研究会家庭科研究部 研究部長</p>
免 許 資 格	<p>1) 小学校教諭一種免許状</p> <p>2) 中学校教諭一種免許状 (国語)</p> <p>3) 高等学校教諭一種免許状 (国語)</p> <p>4) 学校図書館司書教諭</p> <p>6) 書道二段</p>
学 務 ・ 委 員 会	1) 学校図書委員会 2) 学習支援委員会

早坂 俊一郎 (ハヤサカ シュンイチロウ)

職 位	講師
最 終 学 歴	宮城教育大学教育学部
学 位 ・ 称 号	教育学修士
専 門 領 域	国語
担 当 科 目	幼児と環境、保育内容演習（環境）、保育所実習指導Ⅰ・Ⅱ 児童館・放課後児童クラブの機能と運営
所 属 学 会	
論 文 等	<p>【宮城誠真短期大学研究紀要】</p> <p>➤ 第14号. 2023</p> <p>1) 「書くこと」への意識を高める手立ての一考察 ～「社会福祉Ⅰ・Ⅱ」での取り組みを通して～</p> <p>【古川教育研究会研究論文】</p> <p>1) 韻文教材（俳句・短歌）において豊かな鑑賞をさせるための指導方法の工夫－生徒の課題を生かした語彙指導－（平成4年度）</p> <p>2) 意欲的に学習する生徒を育てる一試み－説明的文章における学習課題と学習形態の工夫を通して－（平成7年度）</p> <p>3) 古典に親しむ態度を育成する指導の試み－監視における読みと書く活動を通して－（平成8年）</p> <p>4) 古川教研から大崎地区教研十六年のあゆみ（平成29年度）</p>
活 動 等	<p>文部省教員海外派遣（H9）</p> <p>黒川郡中学校体育連盟会長（H25. 1～H27. 3）</p> <p>宮城県連合中学校教育研究会国語部長（H26. 4～H27. 3）</p> <p>宮城県連合小学校教育研究会会長・副会長・理事（（H27. 4～H30. 3）</p> <p>大崎地区教育研究会会長（（H27. 4～H30. 3）</p> <p>大崎市市歌選考委員長（H27. 11～H27. 9）</p> <p>大崎広域消防職員意見発表会審査委員長（H27. 11～）</p> <p>大崎地区教育研究会国語部会 指導助言（H28）</p> <p>宮城教育大学附属中学校公開研究会 指導助言（国語）（H29）</p> <p>大崎市古川稲葉児童センター館長（H30. 4～H31. 3）</p> <p>宮城県教育委員会「学力向上マネジメントアドバイザー」（H31. 4～R4. 3）</p> <p>みやぎ県民大学「脳トレ」（R4）</p>
免 許 資 格	<p>1) 小学校教諭一種免許</p> <p>2) 中学校教諭一種免許（国語）</p> <p>3) 高等学校教諭一種免許（国語）</p>
学 務 ・ 委 員 会	学生支援委員会、学生倫理委員会